

第五次北本市総合振興計画審査特別委員会行政視察報告

- 1 視察期日 平成28年1月28日（木）
- 2 視察地 長野県小諸市
- 3 出席委員 渡邊良太、湯沢美恵、今関公美、滝瀬光一、
黒澤健一、島野和夫、三宮幸雄、工藤日出夫
- 4 視察項目
〔小諸市〕人口4万3,301人（平成28年1月1日現在）
 - ・ 総合計画について

小諸市の視察概要を報告いたします。

「総合計画」について

小諸市は、小諸市自治基本条例（平成22年4月施行）で市による総合計画策定の義務付けを行いました。第7次基本計画までの総合計画は、まちづくりに向けての理念や基本方針の共有を主眼に策定され「総花的で金太郎飴のような計画」となってしまう、策定が終わると計画書は本棚にしまわれてしまうような計画でした。

小諸市総合計画「第4次基本構想第8次基本計画」では、改善策として重点課題をどのようにして解決するかをまとめた実務型とするために、市長マニフェストを総合計画に反映し、基本計画の計画期間は市長任期に合わせ4年とするなどを盛り込みましたが、実際に運用してみると、計画は形骸化していました。

そこで、第9次基本計画策定（策定作業：平成23年度から平成24年度）では、職員の総合計画に対する意識改革を行い、行政が実際に運用できる総合計画を目指して、総合計画ガイドラインや行政経営の全体最適を図るために構築された計画—実行—評価の体系であるトータル・システム等を踏まえ、策定に取り組みました。

基本計画を策定する上で、3つの行政マネジメントの変革を行いました。
①職員の参画（オーナーシップ）では、若手職員を対象とした総合計画学習会の開催や職員による市の現状分析、計画策定への職員の参画を促進するため職場ヒアリング（意見交換会）を行いました。
②職員の意識改革（マインド・セット）では、基本計画の改定にあたり現状認識を共有した上で市の目指す方向性を明確にし、その実現に向けた戦略を構想するために管理監督者を対象としたマネジメント研修や夏季政策戦略立案会議（サマーレビュー）を新設しました。
③システムの変革（トータル・システム）では、トータル・システムに関連する人事・計画・財務の所管3課による会議の実施や計画・予算・評価の一体化をシステム上で実現するため対応可能な財務会計システムへの更新などを行いました。

第9次基本計画運用開始後のシステム構築の課題としては、トータル・システムに新たに取り組んだため、個別のシステム・プロセスの内容や進め方について、細部の具体化が不十分であり、随時内容や進め方についての見直しを行い必要に応じて改善をしていくとのことでした。職員の参画・意識向上の課題としては、運用開始後、職員から「第9次基本計画の取り組みでは、まだやらされた感があった」「興味のある職員でさえ、基本計画の内容を理解していないし、策定に参加したという実感もない」との声があり、新たな戦略的人材マネジメントの強化が必要とのことでした。

また、現在策定中の第5次基本構想では、「地域経営のための計画」と位置付け、地域の様々な主体が地域のビジョンや各主体の役割を共有するとともに、構想を運用する仕組みとしての「協働のまちづくりの体制構築」につなげることを目指しています。少子高齢化・人口減少に伴い都市が縮小に向かう中で大型事業への大規模投資を行うため、目的となる市の長期的なビジョンが必要となったため1年前倒しでの基本構想の策定となりました。

第5次基本構想策定の取り組みでは、目的実現のために、市役所改革として市長・副市長・教育長による理事者会議、部長を含めた経営戦略会議を経て、市長と全職員の意見交換会や職員による政策研究を実施し理事者で構成する政策会議に対して提言等を行いました。そのうえで、市民参画を得るため、基本構想の選定作業に様々な立場の市民に当事者意識を持ってもらうことを目指したまちづくり学習会（全5回）の開催や市民参画を呼びかける市民フォーラム、多様な視点で「地域を考え」「地域を再発見」することを目指した地域のお宝さがし（ガリバーマップの作成）、地区別の将来像や将来目標を考える地区懇親会、意見交換の場としての基本構想検討市民会議など多角的・複層的に市民参加の場を設ける取り組みを実施しました。

今後の取り組みとして、都市計画マスタープランや財政計画などの個別計画を可能な限り総合計画と同時に策定することで整合性を図り計画のスリム化と分かりやすい計画体系の構築を目指したいとのことでした。

以上、視察の概要を報告いたします。

なお、詳しい資料は、議長への視察報告書に添付されていますので、必要な方はご覧いただきたいと思います。

平成28年 2月23日

第五次北本市総合振興計画審査
特別委員長 工藤 日出夫

北本市議会議長 三 宮 幸 雄 様